



会社案内2022

“移動”に感動を、未来に笑顔を。

1965年の設立以来、半世紀以上にわたり自動車システムの
グローバルサプライヤーへと成長してきたアイシングループ。

私たちは、夢と志をもって、心ひとつに挑む。

モビリティの電動化、クリーンパワーによる移動の進化を核に環境・社会課題の解決に貢献し、
“移動”に自由と喜びを、未来地球に美しさを運び続けます。



取締役社長 吉田 守孝

ごあいさつ

現在、自動車業界は、環境規制の広がりや人工知能など著しい技術進化を背景に、電動化、自動運転に代表されるCASE 革命の大競争時代へと突入しております。

こうした大競争をアイシングループが勝ち抜いていくためには、これまで以上にグループが一体となっていく必要があります。このため、2021年4月、中核企業であるアイシン精機、アイシン・エイ・ダブリュが経営統合し、「株式会社アイシン」として新たなスタートをきりました。

またこれに伴い、経営理念を見直し、「“移動”に感動を、未来に笑顔を。」といたしました。この新たな経営理念のもと、リアルな移動の進化に貢献するだけでなく、人々の「心」を動かすようなあらゆる“移動”体験を世界中の人々に提供するとともに、クルマの電動化やエネルギー関連事業など様々な技術開発に挑戦することで、カーボンニュートラルをはじめとしたさまざまな社会課題に対して具体解を示し、感動と笑顔にあふれる社会を実現するソリューションカンパニーとなっていきます。

今後とも皆さまの変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

“移動”に感動を、未来に笑顔を。



使命 Mission

私たちは、“移動”に自由と喜びを、
未来地球に美しさを運び続けます。

めざす姿 Vision

私たちは、夢と志をもって自ら行動し、
クリーンパワーによる“移動”の進化を核に
環境・社会課題に具体解を示し
誰もが安心・快適な未来を創ります。

提供価値 Value

**成長と幸せを
働く仲間へ**

多様な個性を尊重し、挑戦する企業風土の中で、
社会貢献を胸に自ら考えて行動し、自己の成長と働きがい、
人生の幸せを感じられる会社になります。

**安心と感動を
お客様へ**

より安全・快適・便利なモビリティを創造し、
“移動”の喜び・感動を届け、
お客様の期待を超える新しい価値を生み出します。

**持続可能な
環境を未来へ**

自然と調和し、誰もが安心して暮らせる社会のために、
モビリティの電動化やエネルギーを有効活用した
クリーンパワーを通じて、より良い環境づくりに貢献します。

アイシンの社会課題解決に向けた取り組み

アイシンは「“移動”に感動を、未来に笑顔を。」の経営理念に基づき、私たちの商品・サービスによって、環境・社会課題を解決し、人々の笑顔あふれる持続可能な社会をつくっていきたくて考えています。このような価値観は、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」と親和性が高く、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献できると考え、グループとして注力できる7つの優先課題(マテリアリティ)を選定しました。今後も事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

事業活動



自動車部品事業

優先課題 (マテリアリティ)

- 地球温暖化防止
- 交通事故低減
- 安全な移動・輸送手段の提供



めざす姿

エネルギーの使用量の削減やクリーンエネルギーの活用、更に安全・快適な移動手段の提供を通じ、より地球や人に優しいモビリティ社会づくりに貢献



住生活・エネルギー関連事業

優先課題 (マテリアリティ)

- クリーンエネルギー転換の促進
- 健康と福祉の促進



めざす姿

クリーンで高効率なエネルギー関連商品の普及や快適な住生活空間の提供を通じ、より良い暮らしと環境に配慮した町づくりに貢献



事業活動



全事業共通

優先課題 (マテリアリティ)

- 技術革新による持続可能な産業化の促進
- ライフサイクルCO2ゼロ、汚染防止、環境負荷物資削減、資源循環



めざす姿

-未来に目を向けた研究開発による新たな価値の提供を通じ、豊かで持続可能な社会づくりに貢献
-地球環境への負荷「ゼロ」をめざした取り組みの推進により、循環型社会への移行に貢献

経営基盤



全グループ共通

優先課題 (マテリアリティ)

- 健康・労働安全衛生、人権保護、多様性の促進、働き方改革、ワークライフバランス
- 持続可能な調達



めざす姿

サプライチェーン全体を視野に入れ、多様な人材が生き生きと安心して働ける職場環境の確保をめざした取り組みの推進

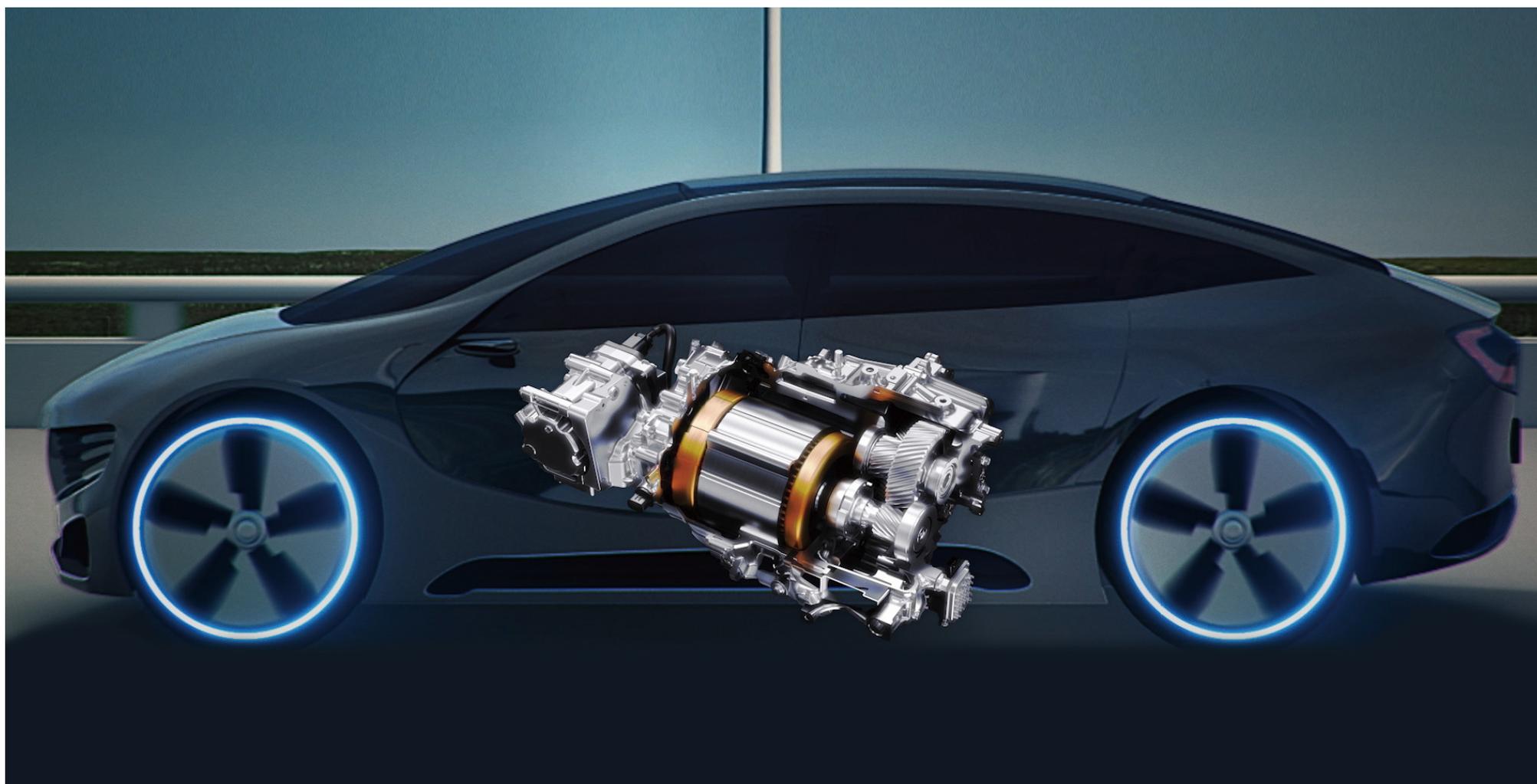
2050年カーボンニュートラル に向けて—



地球温暖化防止

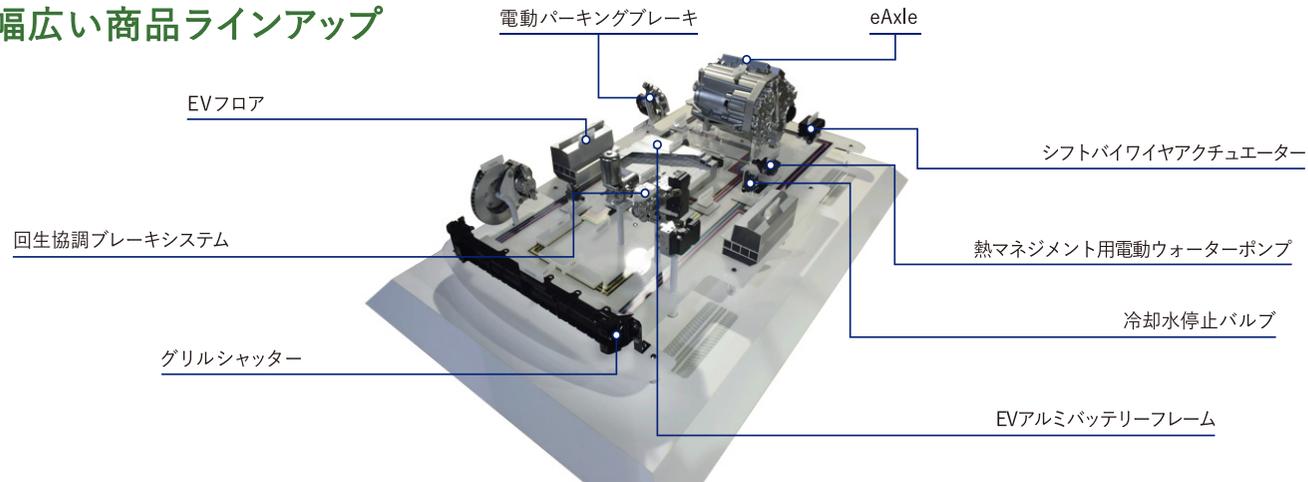
2050年温室効果ガス (GHG) 排出実質「ゼロ」に向けた商品の拡充

1 クルマの電動化でCO₂削減に貢献



eAxle、熱マネジメントシステムなど電動化車両になくてはならない幅広い商品の開発に取り組み、CO₂削減とクルマの低燃費化を推進しています。

|| 電動車両向けの幅広い商品ラインアップ



ハイブリッド車用商品

ハイブリッドトランスミッション
ハイブリッドダンパー

|| 電動ユニット

オートマチックトランスミッション、CVT(無段変速機)などの従来のトランスミッションの開発・生産を行ってきた経験・実績を軸に、ハイブリッドトランスミッションやeAxleなどの電動ユニットの商品ラインアップを拡大。今後も次世代商品の開発を進め、全方位での商品開発を推進します。

|| 熱マネジメント

モーターやバッテリーといったコンポーネントの性能を最大限に引き出すために、車両システムでの熱マネジメントを行い、最適な温度管理を実現。電費(電力消費率)や燃費の向上に貢献します。



冷却モジュール(開発品)

■ eAxle



eAxle (150kW)



電気式4WDユニット

■ ハイブリッドトランスミッション



FF1モーター
ハイブリッドトランスミッション



FR2モーター
マルチステージ
ハイブリッドトランスミッション

|| 回生協調ブレーキシステム

HVやEVなどの電動車に搭載。ブレーキフィーリングとエネルギー回収を両立し、燃費の改善に貢献します。



2050年カーボンニュートラル に向けて—

2 クリーンエネルギーで環境に配慮したまちづくりに貢献



クリーンエネルギー転換の推進
脱炭素・循環型社会に向けたエネルギー関連開発の推進



家庭用燃料電池などクリーンで高効率なエネルギー商品の開発と普及に努め、脱炭素・循環型社会づくりを推進していきます。

家庭用コージェネレーションシステム

家庭に届くガスから水素を取り出し、酸素と化学反応させて発電する「エネファーム」。ガスエンジンで発電する「コレモ」。発電時に発生する熱を捨てずに給湯に利用する省エネシステムです。



家庭用ガスエンジン
コージェネレーションシステム



家庭用燃料電池
コージェネレーションシステム

ガスヒートポンプエアコン (GHP)

GHPはガスをエネルギーとする空調機器です。空調に使うエネルギーを電気の代わりに、高効率のガスを使用することで、省エネに貢献します。また、エネルギーを分散化することで、電力需要の平準化を行い夏季の電力ピークカットにも貢献しています。



ガスヒートポンプエアコン (GHP)

エネルギー供給の最適化をめざした バーチャルパワープラント(VPP)の構築

バーチャルパワープラントは、各家庭のエネルギー源を集めてVPP(仮定の発電所)を構築するエネルギーマネジメントシステムです。私たちは、エネルギー供給の最適化に向けて、IoTで束ねたエネファームをVPPで活用できるシステムの開発に取り組んでいます。

VPPのイメージ図



2050年カーボンニュートラル に向けて—

12

つくる責任
つかう責任



CO₂ 排出削減、汚染防止、環境負荷物質削減、
資源循環、資源効率の改善

3 生産活動におけるCO₂排出量削減を推進

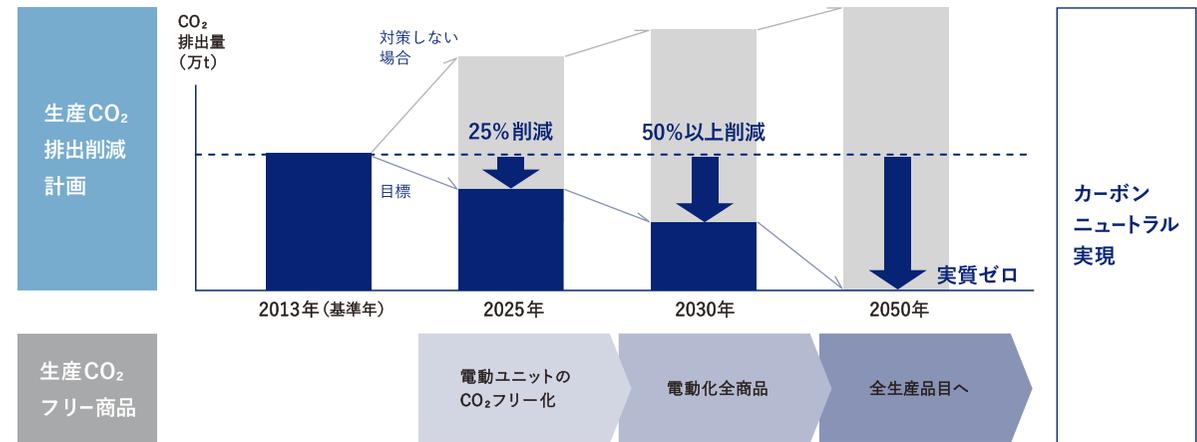


クリーンエネルギー工場の拡充、生産工程からの排水の完全リサイクル化の実現など、循環型社会に向けた複合的な取り組みを強化しています。

II 生産CO₂実質「ゼロ」をめざして

アイシンでは、グループの総力を結集して特に生産時におけるCO₂削減に向けた取り組みを積極的にすすめ、2030年までに電動化全商品を、2050年までに全ての商品のCO₂フリー化をめざします。また、生産工程で発生するCO₂を回収・再利用する技術の開発など、2050年カーボンニュートラルの実現をめざします。

■ 生産CO₂実質ゼロへのロードマップ



II 地球環境と人にやさしいゼロエミッション工場をめざして

アイシンはカーボンニュートラル達成に向けて、「動力源・熱源・無駄レス化」「発電・燃焼」「CO₂再利用」「エネルギーマネジメント」の4つのテーマをキーにカーボンニュートラル技術の実用化を進め、生産工場のゼロエミッションに取り組んでいます。



1 生産ライン1/2(ハーフ)活動

生産設備の動力源・熱源の1/2化、ダウンサイズ、高速同期をキーとした超eco設備を開発・導入。さらに、生産プロセス改革により生産ラインを1/2にすることでCO₂削減に取り組む。

2 溶解炉のCO₂削減

アルミ溶解炉において燃焼制御最適化によるCO₂低減に加え、燃焼時にCO₂を排出しない水素を活用した取り組みを実証実験中。

3 CO₂を回収し再利用

アミノ酸水溶液を用いることで、排ガスに含まれるCO₂と産業副産物から炭酸カルシウムを生成する技術を開発中。生成物は建築用コンクリートなどで再利用が可能。

4 ペロブスカイト太陽電池

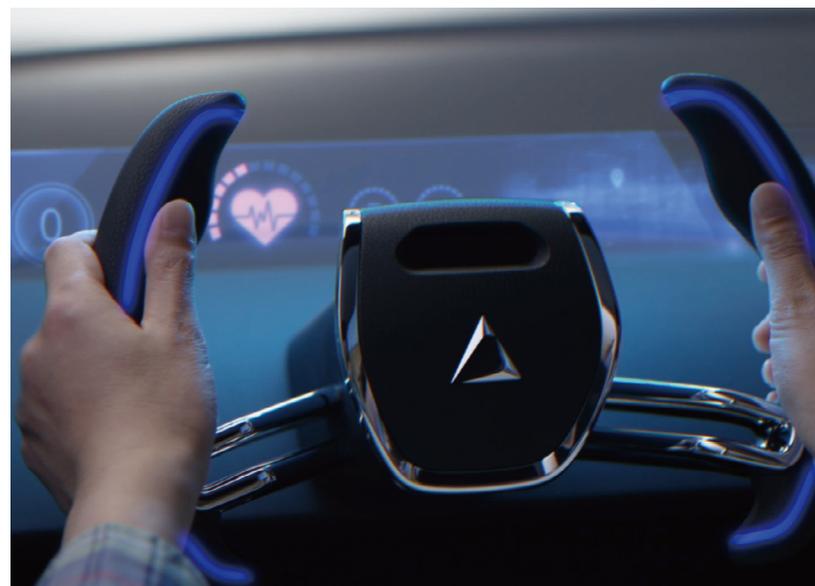
製造時にCO₂の排出が少ない次世代型太陽電池を開発中。軽い・薄い・曲げられるという特徴を活かして、壁面や曲面に設置でき、従来の太陽電池と比較して設置面積が拡大可能。

交通死亡事故ゼロに向けて—

自動運転技術で安全・安心・快適な
クルマ社会を実現



交通事故低減、安全な移動・輸送手段の提供
交通事故死傷者「ゼロ」社会の実現に向けた安全商品の拡充



認知、判断、実行の運転フェーズにおいて、カメラやセンサー、「走る」「曲がる」「止まる」を動作させる商品や、それらを高度に制御するソフトウェアを組み合わせることで、安全・安心・快適を実現し、交通死亡事故ゼロをめざします。

Ⅱ 自動駐車

車庫入れや縦列駐車をより簡単かつ安全に行うために、駐車時の操作を自動で行う駐車システムです。2003年にはハンドル操作を自動で行うシステムを投入し、2019年にはステアリング操作、アクセルやブレーキ操作、駐車スペース設定までを不要にする新たな駐車支援技術を開発。これらの技術を活かして、大型駐車場の入り口から自動で走行・駐車を行う「自動バレー駐車」の開発にも取り組んでいます。

2003年

世界初



2019年

アクセルブレーキ
操作レス



202X年

自動バレー駐車



Ⅱ ドライバーモニターシステム (DMS)

脇見、居眠り運転などに起因する交通事故を無くすため、ドライバーの閉眼状態や視線、顔向きを検出し、警報により運転者に注意喚起を行います。現在では、マスクやサングラスの着用時も表情の検知が可能に。今後、装着義務化の流れもあり、さらなる需要拡大が見込まれます。

2006年

世界初



2019年

ドライブレコーダー
と連携



202X年

自動運転向け
DMS



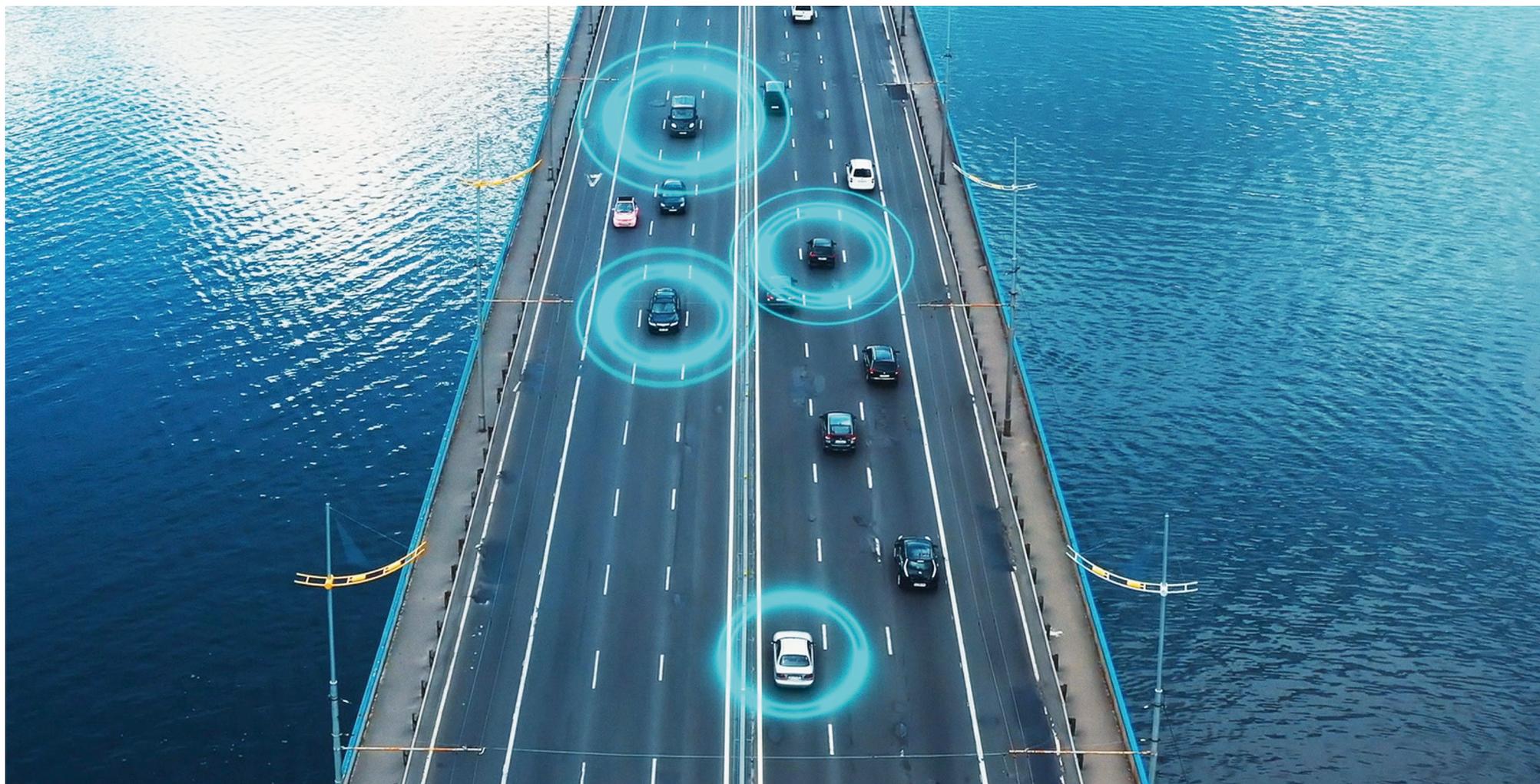
多様化するモビリティ社会に—

すべての人に快適な移動を提供



健康と福祉の推進

より便利で安心な社会の実現に向けた商品・サービスの創出



MaaS市場の拡大に向けて、すべての人が安心・安全でより快適に生活できる社会の実現のために、新たな商品やサービスの提供をめざしています。

Ⅱ エントリーシステム

スムーズな乗降を実現するために、MaaS向けのエントリーシステムを開発。あらゆる路面状況や、乗降者に合わせた安全で快適な乗降を、電動スロープや、大開口スライドドアなどによってサポートします。



パワースライドドアの技術を活用し大開口でらくらく乗降



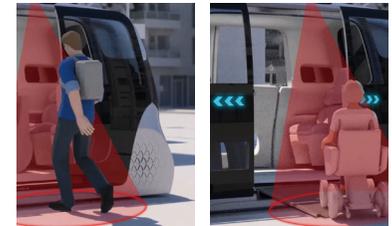
車いすでも安心してスムーズな乗降を実現

Ⅱ 見守りシステム

センシング技術やカメラによるモニタリングを用いて、無人運転のモビリティを利用するすべての人に安心・安全な移動時間を提供します。



顔認証や乗員行動監視により安心な客室を提供



様々な状況を判別して最適な乗降を提供

乗り合い送迎サービス「チョイソコ」

高齢化や交通不便な地域に向け、位置情報技術を活用した乗り合い送迎サービス。会員登録された利用者から予約を受け、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで送迎します。地域の自動車販売店とも連携して地域特性やニーズに合わせたさまざまなサービスを行い、現在では全国30カ所で運行しています。

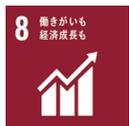
※2022年6月時点



チョイソコ

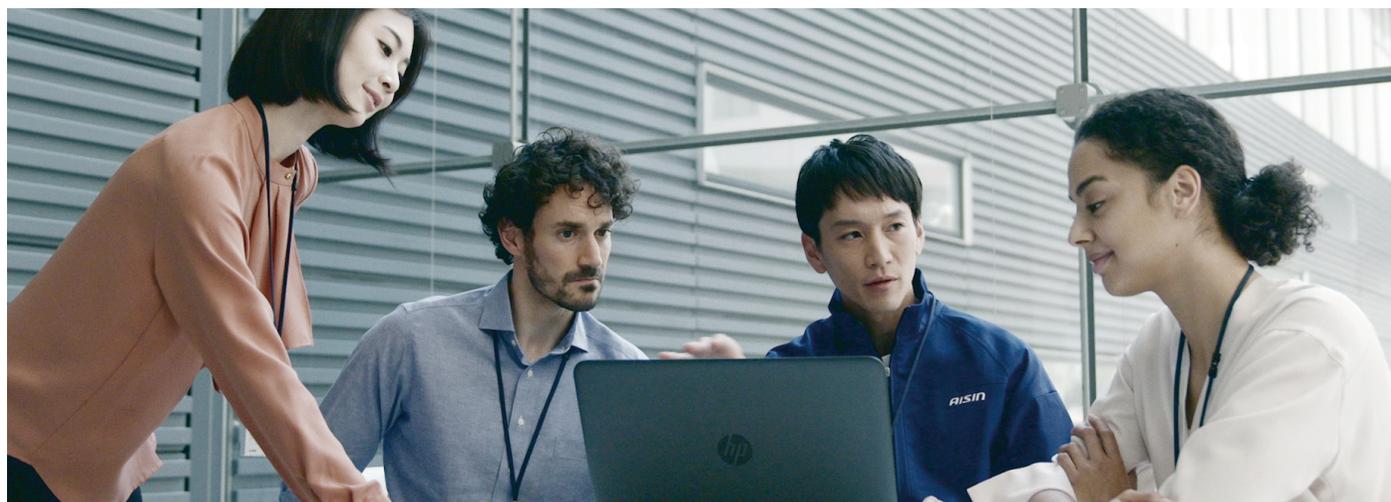
持続可能な社会の実現に向けて—

多様な人材が活躍できる職場環境



労働安全衛生、健康、人権保護、多様性の促進、
働き方改革、ワークライフバランス

—高レベルな安全を維持 —重大災害・休業災害の撲滅 —働きがいのある職場環境の実現



多様な人材が生き生きと安心して働ける職場環境をめざした取り組みを推進しています。

Ⅱ 従業員一人ひとりの働きがいの向上に向けた ダイバーシティ&インクルージョンの推進

アイシンでは、働きがいのある充実した人生を実現させ、新たな価値を生み出していくために、グループ一体となって「働きがい改革」を推し進め、従業員の成長支援と企業価値の向上に取り組んでいます。国籍・性別・LGBT等の性・障がいの有無にかかわらず、多様な人材がそれぞれの個性を尊重し、従業員一人ひとりが働きがいを持ち、プロフェッショナルとしての能力や個性を発揮し、活躍できる企業をめざしています。

働きがい改革のめざす姿



女性活躍に関する認定・表彰



なでしこ銘柄
2021年度認定



えるぼし(2つ星)
2019年度認定



あいち女性輝きカンパニー
(優良企業表彰)
2018年度受賞



プラチナくるみん
2021年度認定



愛知県ファミリー
フレンドリー企業
2015年度認定

2020 CONSTITUENT MSCI日本株※
女性活躍指数 (WIN)

※「株式会社アイシン」のMSCI指数への組入れにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による「会社名」への後援、保証、販促には該当しません。
MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

Ⅱ 従業員のための健康維持・増進活動

従業員が心身共に健康であるために、心や体の健康維持・増進への取り組みや感染症対策への取り組みなど、各種施策を展開しており、健康経営優良法人の認定を4年連続で受けています。



Ⅱ 地域社会とともに「Be With(共に生きる)」

企業も社会の一員であることを自覚し、積極的に社会へ参画し、その持続的発展に貢献します。私たちの活動の合言葉は、「Be With(共に生きる)」。地域社会の皆様と「共に」豊かな社会づくりを実践しています。



地域の小学校で行う「アイシン環境学習プログラム」

アイシンの 3つの強み

アイシンには、「技術開発力」、「ものづくり力」、
「グループの総合力」の3つの強みがあります。
私たちはこれらの強みを活かして環境・社会課題を
解決するとともに、「走る」「曲がる」「止まる」そして
「快適」を支える車両運動システムパートナーを
めざします。



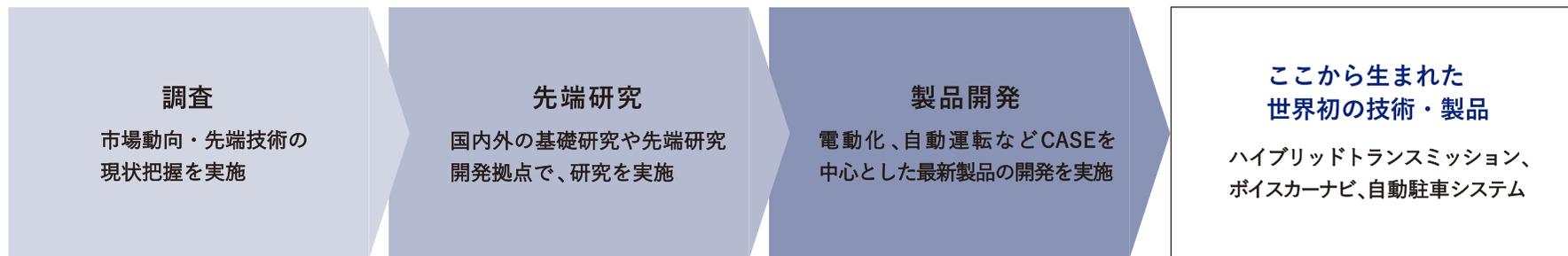


アイシンの強み | 技術開発力

アイシンは設立以来、競争力のある幅広い商品を世界中に送り出してきました。それを可能にしたのは、世界のニーズをいち早く取り込むためのグローバルな開発体制や、独自の評価体制、自前主義にこだわらない幅広い業種との協業による先端技術開発です。今後は、技術開発におけるデジタルトランスフォーメーションを加速させ、CASE (C:コネクティッド、A:自動運転、S:シェアリングサービス、E:電動化)を中心としたこれからの技術開発において、より一層の競争力強化に取り組んでいきます。

世界に広がる研究開発体制により、技術開発を通して社会に貢献する

アイシンは、1978年に技術系シンクタンク「テクノバ」を設立するなど、調査・先端研究・製品開発に取り組み、科学技術を用いて人類の発展に寄与するための活動を行ってきました。その後も「イムラ・ヨーロッパ」をはじめ、国内外に基礎研究や先端技術開発の拠点を構え、エネルギー、モビリティ、エレクトロニクス、医療など、様々な分野で研究開発を進めています。



世界の特異環境を再現した評価を実施

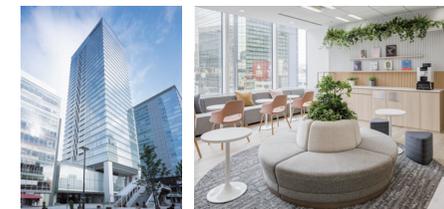
高品質な製品を、自信を持ってお客様へ提供するため、世界の特異環境を再現したテストコースや最先端の設備によって性能・耐久性を検証・追求し続けています。



藤岡試験場 (愛知県)

幅広い業種との協業による先端技術開発

CASEを中心とした自動車分野の開発はもちろん、先端研究において、人工知能に関わる共同研究・開発や、優れた技術を有するスタートアップ企業とのオープンイノベーション活動を進めています。



Tokyo Research Center (秋葉原ダイビル内)



アイシンの強み | ものづくり力

アイシンでは、次世代商品を支える独創的な工法や生産設備を絶えず革新し続けると共に、ものづくりのスキルを伝承し、グローバルに活躍できるものづくり人材の育成にも注力しています。さらに、より一層の競争力強化に向け、ものづくりにおけるデジタルトランスフォーメーションを加速させています。

ものづくり人材の育成

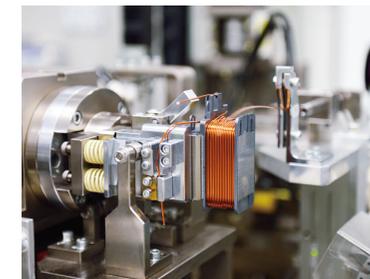
私たちは、人材育成がものづくりの基礎になるという考えのもと、アイシンが培ってきた知識・技能の伝承に加え、AI分野など、時代の変化に合わせた新しい教育を積極的に取り入れ、新たな時代で活躍するものづくり人材の育成に注力しています。



電気の配線作業や回路設計を学習

ダントツを追求する生産技術力

私たちは、ダイカスト、プレス、切削加工など多種多様な工法で素材から組み付けまでの一貫生産を行う生産技術力を駆使することで、シンプル・スリムな設備・型の開発等「ものづくりの力」を強化し、「ダントツ」の品質・原価の「つくり込み」に努めています。

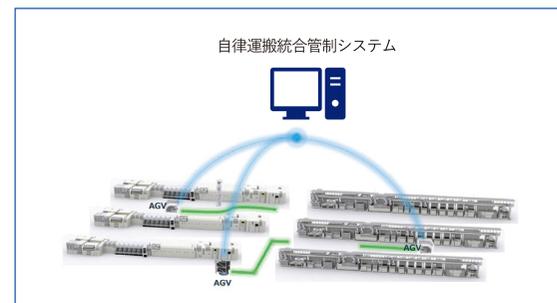


モーターの高密度コイル巻線機

ものづくりにおけるデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組み

アイシンでは、ものづくりにおける技術革新によって、持続可能な産業化の促進に貢献するために、DXに取り組んでいます。人・モノ・設備から集めた情報の活用によるフレキシブルな生産の実現や、設備不具合の予知・予兆、災害の未然防止、無駄レスなリーン生産の構築を推進しています。

フレキシブルな生産を実現した自律運搬統合管制システム



生産状況とAGV(無人搬送車)の稼働状況等をリアルタイムに取得し、それに基づいた最適な運搬計画をシステムで生成・配信することで、AGVの自律的な運搬を実現





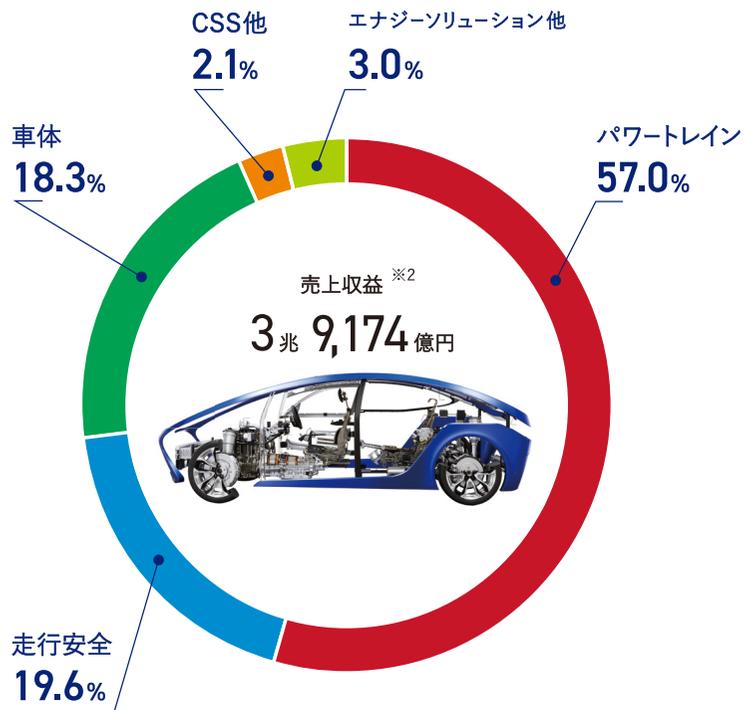
アイシンの強み | グループの総合力

アイシンは、幅広い事業領域と高い専門性を活かし、自動車部品はもちろん、エネルギー関連商品など、多様なニーズに応える事業を幅広く手がけています。

自動車部品メーカー 売上高世界ランキング

5位^{※1}

※1 2021年(2021年1月～12月)連結売上高
出典「Automotive News」



※2 2021年度

グループ全体での持続的な事業価値の最大化を追求

1965年の設立以来、自動車産業の普及を支えるとともに、グローバルサプライヤーへと成長してきたアイシン。グループ内の連携強化と経営の効率化をねらい、これまでの分社経営からグループ経営に舵を切ると共に、カンパニー制を導入し、持続的な事業価値の最大化をめざしています。また、2021年にはグループの中核であるアイシン精機とアイシン・エイ・ダブリュが経営統合し、100年に一度と言われる大変革期を生き抜くために、更なる競争力を強化します。

■ 組織図



革新的な製品が支えるアイシンの成長と発展

アイシンはいつの時代も、新たな価値を提供する製品づくりに取り組み、発展し続けています。

1943
東海航空工業を設立
(のちに東海飛行機に社名変更)

航空機用エンジンを生産。

1945
東新航空機を設立

1945
東海航空工業、
愛知工業に社名変更

1945
東新航空機、
新川産業に社名変更

1953
新川産業、新川工業に
社名変更



1965
アイシン精機を設立



愛知工業と兄弟会社である新川工業が合併。体質強化、国際競争力強化という目的のもと、「小異を捨て大同につこう」という両社の決断により「アイシン精機」が誕生する。

1969
アイシン・ワーナーを設立



1970
藤岡試験場を竣工
総合的な品質保証を目指して、部品メーカーとしては先駆けとなる、走行テストが可能な専用テストコースを持つ試験場を設立。

1970
海外初の現地法人を設立



自動車部品の輸出拡大と、国際企業としての躍進に備え、ロサンゼルスに「アイシンU.S.A.」を設立。

1972
デミング賞の受賞

1977
アイシン高等学園を設立
ものづくりの精神と技能を伝承し、生産職場の核となる人材の育成を目指す企業内訓練校。

1982
TQC部門・TPM部門
で日本初の四冠達成



PM特別賞の受賞により日本で初めてデミング賞、N賞、PM賞、PM特別賞の四冠を達成。

1986
IMRAを設立



フランスに初の海外研究法人を設立。グローバルな体制で先端技術の開発を推進。

1988
アイシン・ワーナー、
アイシン・エイ・ダブリュ
に社名変更

1940

- 1946 家庭用ミシン①
- 1947 クラッチディスク



①家庭用ミシン

1950

- 1953 オイルポンプ
- 1954 ドアロック
- 1955 バンパージャッキ



②2速半オートマチック
トランスミッション

1960

- 1961 2速半オートマチックトランス
ミッション生産委託②(日本初)
- 1963 ピストン
- 1964 インテークマニホールド
- 1966 トヨタベッド③
- 1967 湿式摩擦材



③トヨタベッド



④シャワートイレ

1970

- 1972 かつお・まぐろ自動一本釣機
- 1976 シャワートイレ④
- 1977 サンルーフ⑤(日本初)



⑤サンルーフ

1980

- 1983 スターリングエンジン⑥
- 1985 電動チルト&テレスコピック
ステアリングシステム
- 1987 ガスヒートポンプエアコン⑦



⑥スターリングエンジン



⑦ガスヒートポンプ
エアコン

1997
ISO9001認証取得

本社および技術開発部門
6事業部と3海外法人で取得。

1998
ISO14001認証取得

当社初となった安城工場
はベッド関連業界でも初めて
の認証取得。

2007
「アイシンウェイ」策定



アイシンの仕事のやり方・
考え方、働く上で共有すべき
価値観や行動規範を示した「アイシンウェイ」を作成、発行。

2014
MT、ブレーキ、シート、
車体事業の再編

機能を集約し、リソースを最適に配分することで競争力を強化していくことを狙いにトヨタグループ内での事業再編を実施。

2017
バーチャルカンパニー
(VC)制導入

各社で磨いた専門性を結集し、会社の枠を超えた事業軸で総合力を発揮できる、新たなグループ連携体制をスタート。

2019
BluE Nexusを設立



電動化の普及に向けた電動モジュール開発・販売を目的とし、アイシン精機とデンソーが合弁会社を設立。

2020
カンパニー制導入

グループ全体での持続的な事業価値の最大化に向け、バーチャルカンパニー制を進化させたカンパニー制への移行をスタート。

2021
アイシンを設立

アイシン精機とアイシン・エイ・ダブリュが経営統合。

1990

1992 ボイスナビゲーションシステム^⑧(世界初)

1998 フェムト秒ファイバーレーザー^⑨

1999 駐車アシストシステム(世界初)



⑧ボイスナビゲーションシステム



⑨フェムト秒ファイバーレーザー

2000

2001 パワースライドドアシステム

2003 インテリジェントパーキングアシスト(IPA)(世界初)^⑩

2006 FR8速オートマチックトランスミッション(世界初)

2009 エンジン冷却用電動ウォーターポンプ



⑩インテリジェントパーキングアシスト(IPA)(世界初)

2010

2012 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

2017 FR10速オートマチックトランスミッション(世界初)

2019 FF1モーターハイブリッドトランスミッション^⑪



⑪FF1モーターハイブリッドトランスミッション

2020

2020 eAxle^⑫



⑫eAxle

自動車部品ラインアップ

パワートレイン



eAxle(150kw)



eAxle(80kw)



FF1モーター
ハイブリッド
トランスミッション



FR1モーター
ハイブリッド
トランスミッション



FF2モーター
ハイブリッド
トランスミッション



FR2モーター
マルチステージ
ハイブリッド
トランスミッション



FR10速オートマッチ
トランスミッション



CVT



エンジン冷却用
電動ウォーターポンプ



バッテリー冷却用
電動ウォーターポンプ



CSS



乗り合い送迎サービス
「チョイソコ」



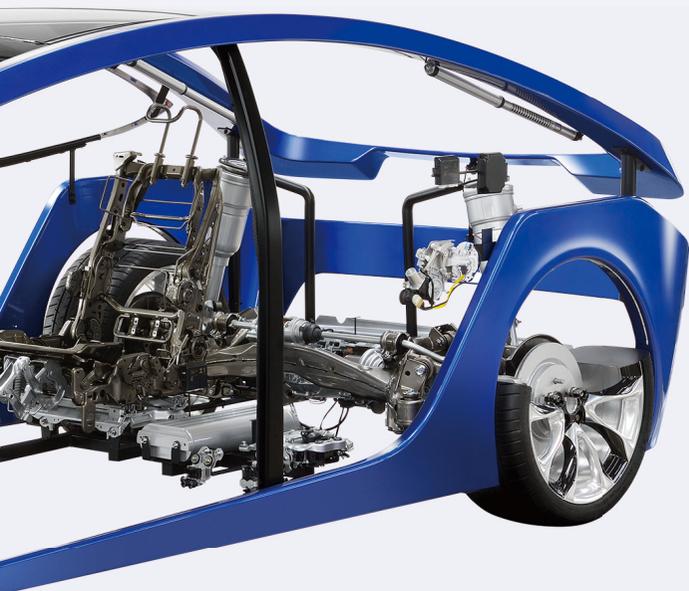
道路維持管理支援サービス
「みちログ」



カーナビゲーション



物流支援サービス



車体



パワースライドドアシステム



パワーバックドアシステム



サンルーフ



グリルシャッター



アクティブフロントスポイラー

走行安全



自動駐車システム



ドライバーモニターシステム



回生協調ブレーキシステム



ディスクブレーキ



アクティブ
リアステアリングシステム

アフターマーケット



補修・メンテナンス用商品

エナジーソリューション



家庭用コージェネレーションシステム



ガスヒートポンプエアコン (GHP)



シャワートイレ



ペルチェモジュール



水素ステーション

新規事業・その他



パーソナルモビリティ「ILY-Ai」



デリバリーサービス「めしクルー」



微細な水粒子「AIR (アイル)」



音響設備「TAOC」



住宅リフォーム

会社概要



設立

1965年8月31日

資本金

450億円

本社所在地

〒448-8650
愛知県刈谷市朝日町二丁目1番地
電話 (0566)24-8441 (代表)

代表者

取締役社長 吉田 守孝

従業員数

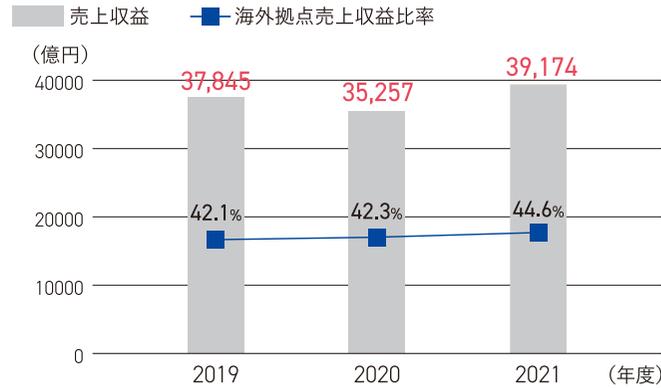
単独 36,489人 / 連結 117,177人
(2022年3月31日現在)

事業内容

自動車部品、エネルギー・
住生活関連製品の製造販売

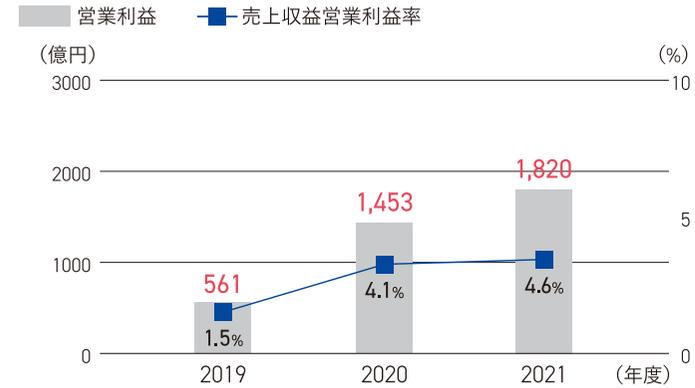
売上収益／海外拠点売上収益比率

※各年度は4月1日～翌年3月31日まで



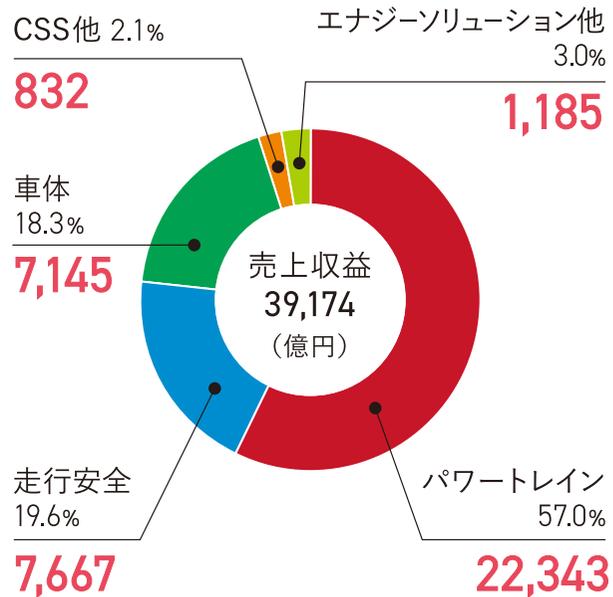
営業利益／売上収益営業利益率

※各年度は4月1日～翌年3月31日まで



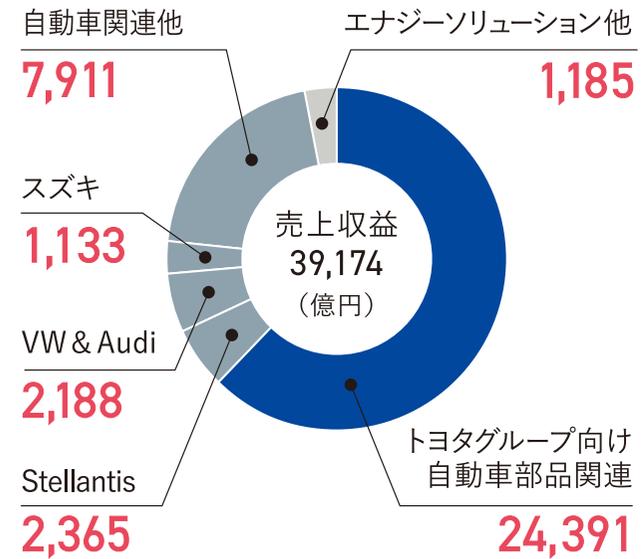
売上収益構成比

(2021年度)



得意先別売上収益

(2021年度)



工場

安城工場

〒446-8524
愛知県安城市三河安城町1丁目11番地2

安城第1工場

〒444-1192
愛知県安城市藤井町高根10番地

安城第2工場

〒444-1192
愛知県安城市藤井町高根10番地

安城モータ工場

〒444-1192
愛知県安城市藤井町高根10番地

岡崎工場

〒444-8564
愛知県岡崎市岡町字原山6番地18

岡崎池金工場

〒444-3501
愛知県岡崎市池金町字中大入1番地56

岡崎電子工場

〒444-8564
愛知県岡崎市岡町字原山6番地18

岡崎東工場

〒444-3502
愛知県岡崎市大幡町字大入1番地1

岡崎牧平工場

〒444-3624
愛知県岡崎市牧平町字岩田3番地32

小川工場

〒444-1162
愛知県安城市小川町久々井1番地

蒲郡工場

〒443-8555
愛知県蒲郡市浜町24番3

衣浦工場

〒447-0824
愛知県碧南市港南町2丁目8番地12

吉良工場

〒444-0504
愛知県西尾市吉良町友国松下155番地

城山工場

〒445-0006
愛知県西尾市小島町城山1番地

新川工場

〒447-0861
愛知県碧南市六軒町4丁目75番地

新豊工場

〒473-0921
愛知県豊田市高丘新町天王1番地

田原工場

〒441-3401
愛知県田原市緑が浜2号2番地

西尾工場

〒445-0801
愛知県西尾市南中根町小割80番地

半田工場

〒475-0033
愛知県半田市日東町4番地29

世界の自動車メーカーを支える グローバルネットワーク

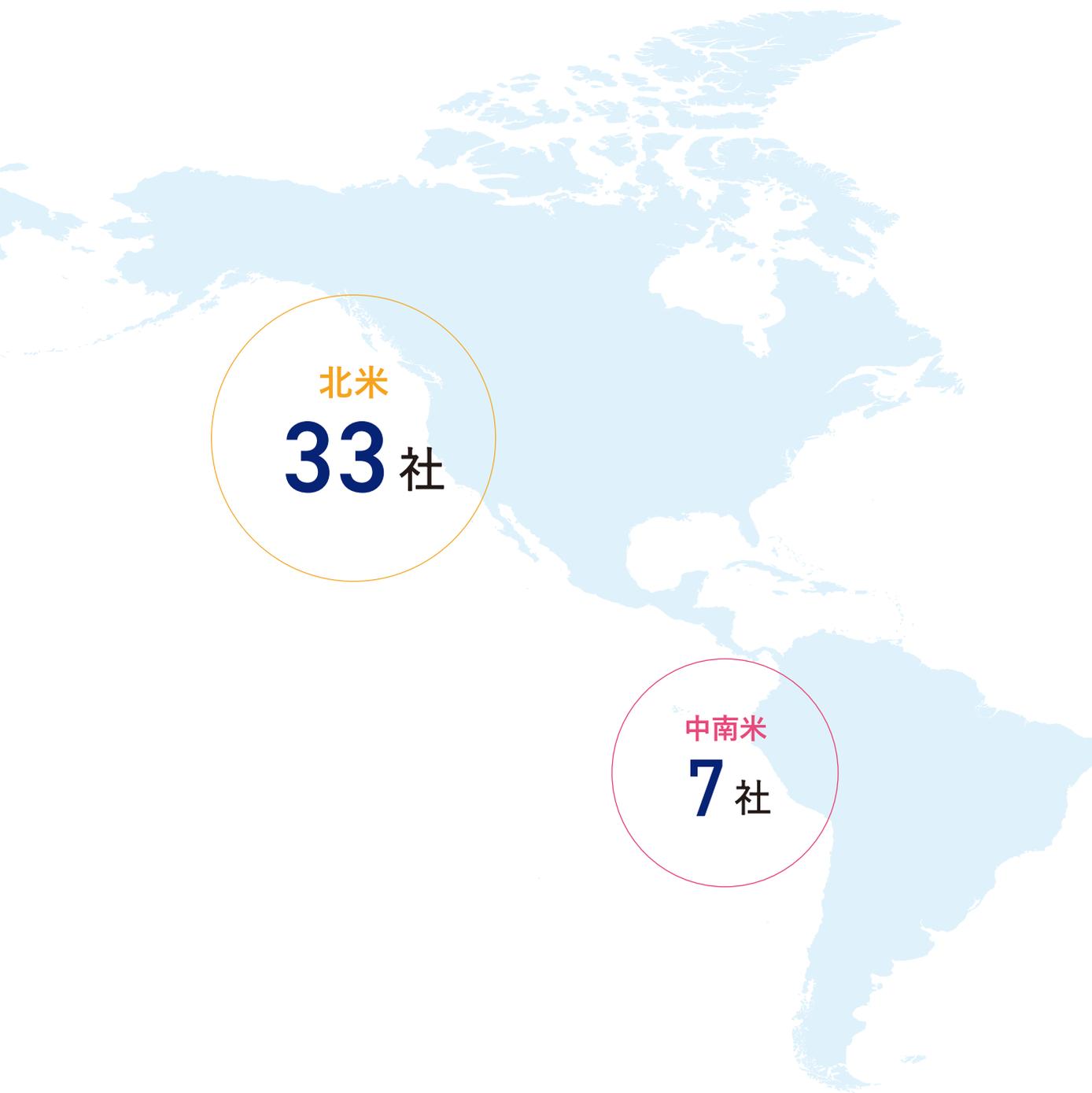
世界の主要自動車メーカーの近くで供給体制を構築するのは、
現地の道を知り、人々のさまざまなニーズに応えたいから。
高い価値の製品を生み出すために、
今後も生産体制の強化や販売・開発体制の整備などを進め、
グローバルネットワークのさらなる充実を図ります。

欧州
10社

アジア
77社

日本
75社

アフリカ
1社



北米
33社

中南米
7社

アイシングループ
203社※
(2022年3月31日現在)
※アイシンを含む
※持分法適用会社は含まない

株式会社 アイシン

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町二丁目1番地
<https://www.aisin.com/jp>



2022年7月版